

平成29年

迎春

まちづくりのために

国東市議会 議長 唯 有 幸 明



新年明けましておめでとうございます。
市民の皆様には、輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。
また、平素より市政発展のため大なるご理解とご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。
昨年は、国の政治情勢が大きく変動する中で、地方自治体を取り巻く環境は依然として厳しく、経済情勢を含め、時代の先行きがますます不透明に感じた1年でありました。また、昨年4月の熊本県と大分県で発生した大地震、8月の東北、北海道での台風10号による被害など自然災害の脅威にさらされ、防災の取り組みの大切さを一段と感じた1年でもございました。
国東市では昨年、市制施行10周年を迎え、記念式典や各種イベントの開催など、多くの市民の皆様のご協力を得て節目の年を祝うことができました。また、長年の懸案事項でありました市役所新庁舎が完成し、市民サービスの向上を目指して新庁舎での業務を開始することができました。その他、国東町小原の旧常緑果樹研修所跡地における大規模農業団地の整備、おおい国東半島アンテナ

次の20周年に向けて 飛躍し新たな歴史を刻む スタートの年

国東市長 三 河 明 史



新年明けましておめでとうございます。
市民の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。
昨年、国東市はお陰をもちまして市制施行10周年を迎え、5月に記念イベント「国東市誕生祭」を開催致しました。アストホールでは、市制施行10周年並びに新庁舎落成記念式典を挙行し、多くのご来賓や市民の皆様さま方にご臨席を賜りました。また、新庁舎周辺では、オリーブオイルや国東オイスターなど国東市自慢の食材を使った「食の祭典」と、国東市の未来を担う「こどもの祭典」を開催し、多くの市民の皆様さま方へ振わいました。
また、昨年はこれまで着手した各種プロジェクトが徐々に成果を発揮して参りました。
国東町小原の常緑果樹研修所跡地での「農業団地構想」では、オリーブ3千200本を植栽しており、トマトの生産ハウス建設にも着手しております。
福岡市に開設していますアンテナショップでは、1周年記念感謝祭を開催し、福岡市内のデパートやレストランへ向けて食材や加工品の販路

拡大に努めております。
観光面では、来年の2018年に六郷満山開山1300年を迎えようとしており、観光振興と地域活性化を目指し官民一体となった取組みを始めております。
また、大分キヤノン株式会社の本社安岐事業所においてデジタルカメラなどの生産技術の研究、開発を担う総合技術棟となるテクノ棟竣工や、農林水産省による「バイオマス産業都市」認定など、明るい話題が多くありました。
さて、今年は次の20周年に向けて飛躍し、新たな歴史を刻むスタートの年です。国東市最大の課題である人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって「活力ある持続可能な国東市」を創るため、産業の振興や子育て環境の整備などの施策を積極的に推進し、ようやく芽吹き始めたプロジェクトが大輪の花を咲かせ、市民の皆様さま方に「国東市に住んで良かった」と心から実感していただくよう全力で取り組んで参ります。
結びに、本年が市民の皆様さま方にとりまして、素晴らしい年となりますよう心から祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。

ナショナルショップクワトロヨッチ1周年など、今後ますます事業が活発になっていくことを期待する出来事もありました。
今、日本は世界に例を見ない速さで人口減少・超高齢化社会に向かっており、国も地方も大きく変革する中で、国東市においても人口減少対策、教育と子育て支援、福祉・高齢者対策、産業・建設の推進など、課題が山積しております。
市議会といたしましても、これらの山積する課題に立ち向かいながら、まちづくりの主役は市民の皆様であることを第一に考え、住みよいまちづくりのために、全力を尽くしてまいる所存でございます。市民の皆様には、今後も一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
結びに、新しい年が皆様方にとって、実り多き年となりますことを心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶と致します。

